

注3

大学番号：私立005

[令和2年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

藤女子大学 人間生活学部 子ども教育学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 藤学園  
令和2年5月1日現在

### 作成担当者

教務課（花川オフィス）

職名・氏名 シュサ 主査 スガフヲ 菅原 ユウキ 征毅

電話番号 0133-74-7019

（夜間） 0133-74-3111

F A X 0133-74-8344

e-mail kyomu-h@fujijoshi.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

人間生活学部

<子ども教育学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	11
6. 附帯事項等に対する履行状況等	37
7. その他全般的事項	38

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 藤学園

## (2) 大学名

藤女子大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒061-3204  
 北海道石狩市花川南4条5丁目7番地  
 (〒001-0016  
 北海道札幌市北区北十六条西二丁目1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ナガタ ヨシコ) 永田 淑子 <平成19年4月>		
学長	(ハンス ユーゲン・マルクス) ハンス ユーゲン・マルクス <平成29年4月>		
学部長	(ナカガワラ シュンジ) 中河原 俊治 <平成28年4月>	(ワカサ シゲカツ) 若狭 重克 <令和2年4月>	令和2年3月31日付 任期満了 (2)
学科長等	(タカハシ マユミ) 高橋 真由美 <平成30年4月>	(アツタ フジコ) 吾田 富士子 <令和2年4月>	令和2年3月31日付 任期満了 (2)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。）
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間生活学部 子ども教育 学士（教育学）	教育学・保育学 関係	4 年	80 人	- 年次 人	320 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員 超過率	開設年度から報告 年度までの平均 入学定員超過 率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	80人 ( - ) [ - ]	-人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	1.06倍	-	
志願者数	263 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
受験者数	259 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
合格者数	178 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
B 入学者数	85 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A	1.06										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	85 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次			/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )
4年次	/				/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )
計			85 [ - ] ( - )	[ ] ( )			[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	85 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	該当なし
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合計		0 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{85} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人間生活学部 子ども教育学科>

(1) ① 授業科目表

【**配時又は履出時**】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	単位	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	人文学部 人間と宗教	キリスト教概論	1前	2							兼7	
		キリスト教と藤女子大学	1通	2							兼7	
		キリスト教人間学A	1後	2							兼1	
		キリスト教人間学B	1後	2							兼1	
		聖書概論A	1後	2							兼1	
		聖書概論B	1後	2							兼1	
		宗教と文化	1後	2							兼1	
		キャリア・デザイン	女性とキャリア I	1後	1			1				兼1
			女性と労働	1前	2							兼1
			女性と法律	1前	2							兼1
	ジェンダー論		1後	2							兼1	
	文化人類学		1前	2							兼1	
	国際理解	異文化コミュニケーション	1前	2							兼1	
		国際関係論	1前	2							兼1	
		国際理解教育	1後	2							兼1	
		経済学	1前	2							兼1	
		社会学	1前	2							兼1	
		日本国憲法	1前	2							兼2	
		心理学	1前	2							兼1	
		音楽	1後	2							兼1	
		美術論	1前	2							兼1	
		日本語文学	1後	2							兼1	
	社会と文化	英語圏文学	1後	2							兼1	
		アジア圏文学	1後	2							兼1	
		言語学	1後	2							兼1	
		子ども学	1後	2			1				兼1	
		西洋史	1前	2							兼1	
		日本史A	1後	2							兼1	
		日本史B	1前	2							兼1	
		東洋史	1前	2							兼1	
		哲学	1前	2							兼1	
		倫理学	1前	2							兼1	
	自然・科学	環境科学	1前	2							兼1	
自然と化学		1後	2							兼1		
生命科学		1前	2							兼1		
数学		1前	2							兼1		
物理学		1後	2							兼1		
健康	ライフステージ栄養学	1後	2							兼5		
	健康の科学	1前	2							兼1		
	運動の科学	1後	2							兼1		
	運動の実践A	1前	1			1				兼3		
	運動の実践B	1後	1			1				兼3		
リテラシー	文章表現	1前・後	2							兼3		
	統計学	1前	2							兼1		
	情報処理の基礎	1前	1							兼1		
	情報リテラシーA	1前・後	2							兼2		
	情報リテラシーB	1後	2							兼2		
小計(47科目)	—	3	87	0	2	1	0	0	0	兼50		

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	単位	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	人文学部 人間と宗教	キリスト教概論	1前	2							兼7	
		キリスト教と藤女子大学(未開講)	1通								兼2	
		キリスト教人間学A	1後	2							兼1	
		キリスト教人間学B	1後	2							兼1	
		聖書概論A	1後	2							兼1	
		聖書概論B	1後	2							兼1	
		宗教と文化	1後	2							兼1	
		キャリア・デザイン	女性とキャリア I	1後	1			10	4			兼1
			女性と労働	1前	2							兼1
			女性と法律	1前	2							兼1
	ジェンダー論		1後	2							兼1	
	文化人類学		1前	2							兼1	
	国際理解	異文化コミュニケーション	1前	2							兼1	
		国際関係論	1前	2							兼1	
		国際理解教育	1後	2							兼1	
		経済学	1前	2							兼1	
		社会学	1前	2							兼1	
		日本国憲法	1前	2							兼2	
		心理学	1前	2							兼1	
		音楽	1後	2							兼1	
		美術論	1前	2							兼1	
		日本語文学(未開講)	1後	2							兼1	
	社会と文化	英語圏文学	1後	2							兼1	
		アジア圏文学(未開講)	1後	2							兼1	
		言語学	1後	2							兼1	
		子ども学	1後	2			1				兼1	
		西洋史	1前	2							兼1	
		日本史A	1後	2							兼1	
		日本史B	1前	2							兼1	
		東洋史	1前	2							兼1	
		哲学	1前	2							兼1	
		倫理学	1前	2							兼1	
	自然・科学	環境科学	1前	2							兼1	
自然と化学		1後	2							兼1		
生命科学		1前	2							兼1		
数学		1前	2							兼1		
物理学		1後	2							兼1		
健康	ライフステージ栄養学(未開講)	1後	2							兼5		
	健康の科学	1前	2							兼1		
	運動の科学	1後	2							兼1		
	運動の実践A	1前	1			1				兼3		
	運動の実践B	1後	1			1				兼3		
リテラシー	文章表現	1前・後	2							兼3		
	統計学	1前	2							兼1		
	情報処理の基礎	1前	1							兼1		
	情報リテラシーA	1前	2							兼2		
	情報リテラシーB	1後	2							兼2		
小計(47科目)	—	3	87	0	10	4	0	0	0	兼50		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数					専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教員授	准教員授	講師	助教	助手					
	韓国語実践演習A	2前	2										兼1		
	韓国語実践演習B	2後	2										兼1		
	海外語学研修A	1・2・3・4連年	2												
	海外語学研修B	1・2・3・4連年	2												
	海外語学研修C	1・2・3・4連年	2												
	海外語学研修D	1・2・3・4連年	1												
	海外語学研修E	1・2・3・4連年	1												
海外語学研修F	1・2・3・4連年	1													
小計(57科目)	—	—	2	62	0	0	0	0	0	0	0	0	兼25		
子ども教育学科専門科目	保育・教育の理論	教育原理	1前	2										兼1	
		保育原理	1前	2											
		教師・保育者論	1後	2		3									
		教育方法論	2後	2		1									
		教育制度論	3前	2										兼1	
		教育課程総論(全体的な計画を含む)	3前	2		2									
		保幼小連携特論	4前	2		1									
		学級経営論	3後	2		2									
		道徳教育の理論と実践	2前	2											兼1
		特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2後	2		1									
		地域社会と学校	2前	2		2									
		現代社会と教育	4前	2		3									
		教育心理学	2後	2			1								
		学校教育心理学	4前	2			1								
		発達心理学	1前	2			1								
		児童期以降の発達と心理	3前	2		1									
		子どもの理解と発達援助	4後	2		1									
		幼児理解と援助	2後	2		1									
		特別な教育的ニーズに対する理解と支援	3前	2		2									
		特別支援教育総論	1前	2			1								
	特別支援教育実践論	4前	2		1										
	知的障害児の心理・生理・病理	2前	2		1										
	肢体不自由児の心理・生理・病理	2後	2											兼1	
	病弱児の心理・生理・病理	3前	2											兼1	
	知的障害児教育	2後	2											兼1	
	肢体不自由児教育	3前	2			1								兼1	
	病弱児教育	3後	2											兼1	
	知的障害児教育総論	1後	2											兼1	
	肢体不自由児教育総論	2前	2			1								兼1	
	視覚・聴覚障害児の心理・生理・病理	3後	1		1										
	重複・発達障害児の心理・生理・病理	3後	2											兼1	
	視覚・聴覚障害児教育総論	3後	1		1										
	重複・発達障害児教育総論	3後	2		1										
	総合表現	2前	2												
	国語(書写含む)	3前	2		1									兼1	
	社会	3前	2											兼1	
	算数	3前	2		1									兼1	
	理科	3前	2											兼1	
	生活	3前	2		1										
	音楽	2通	2		1									兼10	
	音楽表現法	3通	2		1									兼10	
	音楽表現演習	4前	1		1									兼10	
	図画工作	2前	2		1									兼6	
造形表現法	4前	2		1											
家庭	2前	2											兼1		
初等体育	2前	2		1											
スポーツ実技A(水泳)	2通	1		1											
スポーツ実技B(スキー)	2後	1		1											
英語	2後	2											兼1		
保育内容(健康)	2後	1		1											
保育内容(人間関係)	2前	1		1									兼1		
保育内容(環境)	2後	1		1											
保育内容(言葉)	2前	1		1									兼1		
保育内容(表現)	2前	1		1											
子ども教育学科専門科目	保育内容・教科の指導法	国語科教育法	3後	2		1								兼1	
		社会科教育法	3後	2											
		算数科教育法	3後	2		1									
		理科教育法	3後	2										兼1	
		生活科教育法	3後	2		1									
		音楽科教育法	3後	2										兼1	
		図画工作科教育法	2後	2		1									
		家庭科教育法	2後	2										兼1	
		体育科教育法	2後	2			1								
		英語科教育法	3後	2										兼1	
		保育内容総論	1後	1		1									
		保育内容の指導法(健康)	2前	2		1									
		保育内容の指導法(人間関係)	2後	2											
		保育内容の指導法(環境)	2前	2		1									
		保育内容の指導法(言葉)	2後	2		1									
	保育内容の指導法(表現)	2後	2		1										
	子ども生活支援専修	保育・教育の理論	社会福祉論	1前	2										兼1
			子ども家庭福祉論	1後	2		1								
			社会的養護	2前	2		1								
			児童館・放課後児童クラブの機能と運営	2前	2										兼2
			特別支援教育と福祉	3前	2		1								兼1
		子どもと生活支援	教育相談の理論と方法	3後	2										
			家庭支援論	2後	2		1								
			子どもの保健	2前	2										兼1
			子どもの健康と安全	3前	2										兼1
			子どもの食と栄養	3前	2										兼2
			子ども文化論	2前	2		1								
乳児保育Ⅰ			2後	2										兼1	
乳児保育Ⅱ	3前	1										兼1			
子どもと家族の支援	社会的養護内容	3前	2		1										
	子どもの遊びと学び	3後	2		1										
	児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法Ⅰ	2前	2										兼2		
	児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法Ⅱ	4前	2										兼2		
	子ども家庭支援の心理学	3前	2		1										
子どもと家族の支援	子育て支援(演習)	3後	2												
	子育て支援(講義)	4後	2												
	児童生徒指導・進路指導	4前	2		1										
	児童館実習指導	2後	1		1										
	児童館実習	2後	2		1										
	保育実習指導Ⅰ(保育所)	3通	1		1										
保育実習Ⅰ(保育所)	3通	2		1											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数					専任教員等の配置					兼任・兼担			
			必修	選択	自由	教員授	准教員授	講師	助教	助手						
	韓国語実践演習A	2前	2											兼1		
	韓国語実践演習B	2後	2											兼1		
	海外語学研修A	1・2・3・4連年	2													
	海外語学研修B	1・2・3・4連年	2													
	海外語学研修C	1・2・3・4連年	2													
	海外語学研修D	1・2・3・4連年	1													
	海外語学研修E	1・2・3・4連年	1													
海外語学研修F	1・2・3・4連年	1														
小計(57科目)	—	—	2	62	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼25		
子ども教育学科専門科目	保育・教育の理論	教育原理	1前	2											兼1	
		保育原理	1前	2												
		教師・保育者論	1後	2		3										
		教育方法論	2後	2		1										
		教育制度論	3前	2											兼1	
		教育課程総論(全体的な計画を含む)	3前	2		2									兼1	
		保幼小連携特論	4前	2		1										
		学級経営論	3後	2		2										
		道徳教育の理論と実践	2前	2												兼1
		特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2後	2		1										
		地域社会と学校	2前	2		2										
		現代社会と教育	4前	2		3										
		教育心理学	2後	2			1									
		学校教育心理学	4前	2			1									
		発達心理学	1前	2			1									
		児童期以降の発達と心理	3前	2		1										
		子どもの理解と発達援助	4後	2		1										
		幼児理解と援助	2後	2		1										
		特別な教育的ニーズに対する理解と支援	3前	2		2										
		特別支援教育総論	1前	2			1									



科目区分	授業科目名	記当年次	単位数					専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助	手			
共通	保育実習指導Ⅰ(福祉施設)	3後	1	1	1									
	保育実習Ⅰ(福祉施設)	3後	2	2	1									
	保育実習指導Ⅱ(保育所)	4通	1	1	1									
	保育実習Ⅱ(保育所)	4通	2	2	1									
	保育実習指導Ⅱ(福祉施設)	4通	1	1	1									
	保育実習Ⅱ(福祉施設)	4通	2	2	1									
	保育実習指導Ⅱ(児童館)	4通	1	1	1									
	保育実習Ⅱ(児童館)	4通	2	2	1									
	教育実習指導(特別支援)	4通	1	1	1	1	1							兼1
	教育実習(特別支援)	4通	2	2	1	1	1							兼1
	教育実習指導(幼稚園・小学校)	4前	1	3	3									
	教育実習(幼稚園・小学校)	4前	4	4	3									
	スタートアップセミナー	1前	2	7	2									
	研究調査法	2後	2	2	1									

科目区分	授業科目名	記当年次	単位数					専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助	手			
共通	保育実習指導Ⅰ(福祉施設)	3後	1	1	1									
	保育実習Ⅰ(福祉施設)	3後	2	2	1									
	保育実習指導Ⅱ(保育所)	4通	1	1	1									
	保育実習Ⅱ(保育所)	4通	2	2	1									
	保育実習指導Ⅱ(福祉施設)	4通	1	1	1									
	保育実習Ⅱ(福祉施設)	4通	2	2	1									
	保育実習指導Ⅱ(児童館)	4通	1	1	1									
	保育実習Ⅱ(児童館)	4通	2	2	1									
	教育実習指導(特別支援)	4通	1	1	1	1	1							兼1
	教育実習(特別支援)	4通	2	2	1	1	1							兼1
	教育実習指導(幼稚園・小学校)	4前	1	3	3									
	教育実習(幼稚園・小学校)	4前	4	4	3									
	スタートアップセミナー	1前	2	7	2									
	研究調査法	2後	2	2	1									

下記の①、②の要件を満たした上で、合計127単位以上修得。  
①教養科目から、必修科目3単位、選択必修科目として、区分「人間と宗教」から2単位以上、区分「人間形成」のうち、「国際理解」「社会と文化」「歴史・思想」から2単位以上、「自然・科学」「健康」から2単位以上、区分「リテラシー」から2単位以上、外国語科目から必修科目2単位、必修科目を除いた科目から4単位以上修得し、必修科目、選択必修科目を含めて、教養科目及び外国語の合計修得単位数が30単位以上。  
②必修科目12単位、学科専門科目の幼稚園教諭及び小学校教諭免許科目のうち、選択必修として下記科目から48単位以上を修得。  
<学科選択必修科目>  
・国語(書写含む)・社会・算数・理科・生活・子どもの遊びと学び・音楽・音楽表現法・音楽表現演習  
・図画工作・造形表現法・家庭・初等体育・英語・保育内容総論・保育内容(言葉)・保育内容(環境)  
・保育内容(人間関係)・保育内容(健康)・保育内容(表現)・国語科教育法・社会科教育法  
・算数科教育法・理科教育法・英語科教育法・生活科教育法・音楽科教育法・図画工作科教育法  
・家庭科教育法・体育科教育法・保育原理・教師・保育者論・教育制度論・学級経営論・教育心理学  
・学校教育心理学・児童期以降の発達と心理・特別な教育的ニーズに対する理解と支援  
・教育課程総論(全体的な計画を含む)・道徳教育の理論と実践・特別活動・総合的な学習の時間の指導法  
・教育方法論・児童生徒指導・進路指導・幼児理解と援助・臨床発達検査法・教育相談の理論と方法  
・教育実習(幼稚園・小学校)・教育実習指導(幼稚園・小学校)・保育・教職実践演習(小学校・幼稚園)  
・保幼小連携特論・地域社会と学校・現代社会と教育  
(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

下記の①、②の要件を満たした上で、合計127単位以上修得。  
①教養科目から、必修科目3単位、選択必修科目として、区分「人間と宗教」から2単位以上、区分「人間形成」のうち、「国際理解」「社会と文化」「歴史・思想」から2単位以上、「自然・科学」「健康」から2単位以上、区分「リテラシー」から2単位以上、外国語科目から必修科目2単位、必修科目を除いた科目から4単位以上修得し、必修科目、選択必修科目を含めて、教養科目及び外国語の合計修得単位数が30単位以上。  
②必修科目12単位、学科専門科目の幼稚園教諭及び小学校教諭免許科目のうち、選択必修として下記科目から48単位以上を修得。  
<学科選択必修科目>  
・国語(書写含む)・社会・算数・理科・生活・子どもの遊びと学び・音楽・音楽表現法・音楽表現演習  
・図画工作・造形表現法・家庭・初等体育・英語・保育内容総論・保育内容(言葉)・保育内容(環境)  
・保育内容(人間関係)・保育内容(健康)・保育内容(表現)・国語科教育法・社会科教育法  
・算数科教育法・理科教育法・英語科教育法・生活科教育法・音楽科教育法・図画工作科教育法  
・家庭科教育法・体育科教育法・保育原理・教師・保育者論・教育制度論・学級経営論・教育心理学  
・学校教育心理学・児童期以降の発達と心理・特別な教育的ニーズに対する理解と支援  
・教育課程総論(全体的な計画を含む)・道徳教育の理論と実践・特別活動・総合的な学習の時間の指導法  
・教育方法論・児童生徒指導・進路指導・幼児理解と援助・臨床発達検査法・教育相談の理論と方法  
・教育実習(幼稚園・小学校)・教育実習指導(幼稚園・小学校)・保育・教職実践演習(小学校・幼稚園)  
・保幼小連携特論・地域社会と学校・現代社会と教育  
(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目目(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目名の右側に記入してください。

(1) ①-②授業科目表に関する変更内容

**【令和2年度】**

聖書をもとにした人間学へのアプローチに関する内容の充実を図るため、「キリスト教人間学A」に新たに兼任教員1名を追加しました。  
・ 専任教員が各1回授業を担当し、幅広い視点で女性のキャリアを考える機会を与えるため、「女性とキャリア」の担当が教授10名、准教授4名に変更になりました。  
・ 両学部学生が同時に受講できるように集中講義に変更したため、「日本文学」の開講期を「1後」から「1通」に変更しました。  
・ 両学部学生が同時に受講できるように集中講義に変更したため、「アジア圏文学」の開講期を「1前」から「1通」に変更しました。  
・ 令和元年度履修希望者数が想定より多かったことを受け、令和2年度のカラダ数を追加することになり、開講期を両学部で調整した結果、「情報リテラシーA」の開講期を「1前・後」から「1前」に変更しました。  
・ 小学校及び幼稚園教諭一種免許課程認定申請の審査指摘(9月)において、「教育課程総論(全体的な計画を含む)」の担当教授1名の業績不足が指摘されたため担当から外し、新たに兼任教員1名を担当者として追加しました。  
・ 小学校及び幼稚園教諭一種免許課程認定申請の審査指摘(9月)において、「幼児理解と援助」の担当教授の業績不足が指摘されたため、兼任教員1名を担当者として追加しました。また追加した兼任教員は「保育内容(人間関係)」も担当しており、2科目を担当するのであれば、前期でなければ難しいとのことだったため、開講期を調整し、「2後」から「2前」に変更しました。  
・ 「保育内容の指導法(人間関係)」の担当者が、上記のとおり「幼児理解と援助」も担当することとなり、2科目を担当するのであれば、前期でなければ無理とのことだったため、「保育内容の指導法(人間関係)」の開講期を「2後」から「2前」に変更しました。  
・ 当初から保育内容の指導法に該当する5科目は前期2科目開講、後期3科目開講としていたため、「保育内容の指導法(人間関係)」の開講期変更に伴い、「保育内容の指導法(環境)」の開講期を「2前」から「2後」に変更しました。  
・ 担当予定の教員が本務先を退職し、同時に本学科目の担当も辞退したため、「児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法Ⅰ」及び「児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法Ⅱ」の担当が「兼2」から「兼1」に変更となりました。なお、令和3年度に新たな兼任教員を追加する予定です。  
・ 小学校及び幼稚園教諭一種免許課程認定申請の審査指摘(9月)において、科目名に関する指摘が入ったため、「児童生徒指導・進路指導」を「生徒指導・進路指導」に名称変更いたしました。

- (注)・ 2(1)①-② 授業科目表に記入された各年度における変更内容(記当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				設置時の計画				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計(A)	
10科目	208科目	0科目	218科目	10科目	208科目	0科目	218科目	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	キリスト教と藤女子大学	2	1	一般	選択	左記科目は2キャンパスの学生が同一時間に同一教室で授業を受ける科目です。COVID-19感染拡大に伴い、キャンパス間の移動による感染リスクや、学生が混在することによる両キャンパスへの感染拡大リスクを鑑み、2020年度の開講を取りやめました。これらの科目は次年度以降も開講される予定なので、本年度履修出来ない学生は次年度以降に履修することが可能です。
2	日本語文学	2	1	一般	選択	
3	アジア圏文学	2	1	一般	選択	
4	ライフステージ栄養学	2	1	一般	選択	

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講となった科目はいずれも教養科目であり、2年生以降でも履修が可能であることから、学位プログラムへの影響は少なく、COVID-19感染拡大の状況にあって、学生の安全を最大限優先するために開講を見送ることはやむを得ないと判断いたしました。未開講科目は分散登校により実施した新入生オリエンテーションで周知し、本学のポータルサイトでもメッセージ送信により学生に周知いたしました。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

### (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{4}{218} = \boxed{1.83\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計						
	校舎敷地	118,000 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	118,000 m <sup>2</sup>						
	運動場用地	43,655 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	43,655 m <sup>2</sup>						
	小 計	161,655 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	161,655 m <sup>2</sup>						
	そ の 他	60,999 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	60,999 m <sup>2</sup>						
	合 計	222,654 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	222,654 m <sup>2</sup>						
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計							
	37,538 m <sup>2</sup> ( 37,538 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	37,538 m <sup>2</sup> ( 37,538 m <sup>2</sup> )							
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体					
	42 室	22 室	64 室	3 室 (補助職員 2人)	1 室 (補助職員 0人)						
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			(例) 令和2年4月 専任教授1名を新規 採用のため(2)					
	人間生活学部 子ども教育学科		13 -2 室								
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本				
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル					点	点	点
		冊	種	[うち外国書]							
人間生活学部 子ども教育学科	383,840 [54,052] (360,885 [56,816])	4,847 [441] ( 4,682 [432])	20,450 [18,908] <del>15,450 [14,020]</del> (17,451 [16,021])	10,372 (8,471)	1,085 (1,059)	0 ( 0)	学部単位での特定 不能なため、大学 全体の数				
計	383,840 [54,052] (360,885 [56,816])	4,847 [441] ( 4,682 [432])	20,450 [18,908] <del>15,450 [14,020]</del> (17,451 [16,021])	10,372 (8,471)	1,085 (1,059)	0 ( 0)		契約範囲内で閲覧できる 電子ジャーナルのタイ トル数が増加したため			
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体						
	3,668m <sup>2</sup>	537席	423,300冊								
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要									
	2,337m <sup>2</sup>	テニスコート5面		トラック1面							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学科全体		
		教員1人当り研究費等	430千円	430千円	図書購入費	2,600千円	2,600千円	2,600千円			
	共同研究費等	2,900千円	2,900千円	設備購入費	3,500千円	2,000千円	2,000千円	図書購入費には電子 ジャーナルの整備費 (運用コスト含む)を 含む。			
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
		1,160千円	980千円	980千円	980千円	千円	千円				
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、手数料収入、寄付金収入等									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称		藤女子大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
文学部		240		960		1.22	1.27	-		北海道札幌市北区北十六条西二丁目1番1号	
英語文化学科	4	80	-	320	学士(文学)	1.20	1.17	-	昭和36	同上	
日本語・日本文学科	4	80	-	320	学士(文学)	1.26	1.48	-	昭和36	同上	
文化総合学科	4	80	-	320	学士(文学)	1.20	1.16	-	平成12	同上	
人間生活学部		240		960		0.96	0.96	-		北海道石狩市花川南四条五丁目7番地	
人間生活学科	4	80	-	320	学士(人間生活学)	0.76	0.87	-	平成4	同上	
食物栄養学科	4	80	-	320	学士(食物栄養学)	1.06	0.95	-	平成4	同上	
子ども教育学科	4	80	-	80	学士(教育学)	1.06	1.06	-	令和2	同上	
保育学科	4	-	-	-	学士(保育学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年度学生募集停止
大学院		16		32		0.37	0.12	-		北海道石狩市花川南四条五丁目7番地	
人間生活学研究科										同上	
人間生活学専攻	2	8	-	16	修士(人間生活学)	0.21	0.12	-	平成14	同上	
食物栄養学専攻	2	8	-	16	修士(食物栄養学)	0.52	0.12	-	平成14	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

## 5 教員組織の状況

### <人間生活学部 子ども教育学科>

#### (1) -① 担当教員表

##### 【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学科 主任)	高橋 真由美 (55) <令和2年4月> 修士(教育学)
		幼児理解と援助 保育内容(環境) 保育内容総論 保育内容の指導法(環境) 教育実習指導(幼稚園・小学校) 教育実習(幼稚園・小学校) スタートアップセミナー※ 保育・教職実践演習(幼稚園・小学校) ※ 専門演習 卒業研究演習 卒業研究
専	教授	小川 恭子 65(高) <令和2年4月> 修士※(教育学)
		子ども家庭福祉論 社会的養護 特別支援教育と福祉 児童館実習指導 児童館実習 保育実習指導I(福祉施設) 保育実習I(福祉施設) 保育実習指導II(福祉施設) 保育実習II(福祉施設) 保育実習指導II(児童館) 保育実習II(児童館) 専門演習 卒業研究演習 卒業研究

##### 【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高橋 真由美 (55) <令和2年4月> 修士(教育学)
		幼児理解と援助※ 保育内容(環境) 保育内容総論 保育内容の指導法(環境) 教育実習指導(幼稚園・小学校) 教育実習(幼稚園・小学校) スタートアップセミナー※ 保育・教職実践演習(幼稚園・小学校) ※ 専門演習 卒業研究演習 卒業研究 女性とキャリアI※
専	教授	小川 恭子 65(高) <令和2年4月> 修士※(教育学)
		子ども家庭福祉論 社会的養護 特別支援教育と福祉 児童館実習指導 児童館実習 保育実習指導I(福祉施設) 保育実習I(福祉施設) 保育実習指導II(福祉施設) 保育実習II(福祉施設) 保育実習指導II(児童館) 保育実習II(児童館) 専門演習 卒業研究演習 卒業研究 女性とキャリアI※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	吾田 富士子 (56) ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		保育原理 教師・保育者論※ 教育課程総論(全体的な計画を含む)※ 子どもの理解と発達援助 保育実習指導I(保育所) 保育実習I(保育所) 保育実習指導II(保育所) 保育実習II(保育所) 保育・教職実践演習(幼稚園・小学校) ※ 専門演習 卒業研究演習 卒業研究
専	教授	原田 公人 65(高) ＜令和2年4月＞ 博士(生涯発達科学)
		特別支援教育実践論※ 特別な教育的ニーズに対する理解と支援 ※ 知的障害児の心理・生理・病理 視覚・聴覚障害児の心理・生理・病理 視覚・聴覚障害児教育総論 教育実習指導(特別支援) 教育実習(特別支援) スタートアップセミナー 専門演習 卒業研究演習 卒業研究
専	教授	小山 和利 62(高) ＜令和2年4月＞ 修士(経営学)
		現代社会と教育※ 特別な教育的ニーズに対する理解と支援 ※ 教育相談の理論と方法 家庭支援論 子ども家庭支援の心理学※ 臨床発達検査法 専門演習 卒業研究演習 卒業研究 社会的養護内容 スタートアップセミナー※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 <b>(学科主任)</b>	吾田 富士子 (56) ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		保育原理 教師・保育者論※ <b>教育課程総論(全体的な計画を含む)※</b> ※ 子どもの理解と発達援助 保育実習指導I(保育所) 保育実習I(保育所) 保育実習指導II(保育所) 保育実習II(保育所) 保育・教職実践演習(幼稚園・小学校) ※ 専門演習 卒業研究演習 卒業研究 <b>女性とキャリアI※</b>
専	教授	原田 公人 65(高) ＜令和2年4月＞ 博士(生涯発達科学)
		特別支援教育実践論※ 特別な教育的ニーズに対する理解と支援 ※ 知的障害児の心理・生理・病理 視覚・聴覚障害児の心理・生理・病理 視覚・聴覚障害児教育総論 教育実習指導(特別支援) 教育実習(特別支援) スタートアップセミナー 専門演習 卒業研究演習 卒業研究 <b>女性とキャリアI※</b>
専	教授	小山 和利 62(高) ＜令和2年4月＞ 修士(経営学)
		現代社会と教育※ 特別な教育的ニーズに対する理解と支援 ※ 教育相談の理論と方法 家庭支援論 子ども家庭支援の心理学※ 臨床発達検査法 専門演習 卒業研究演習 卒業研究 社会的養護内容 スタートアップセミナー※ <b>女性とキャリアI※</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	庄井 良信 (59) ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教師・保育者論※ 教育方法論 保幼小連携特論 保育内容(人間関係)※ 子どもの遊びと学び 児童生徒指導・進路指導 専門演習 卒業研究演習 卒業研究 子ども学
専	教授	駒形 武志 (63) ＜令和2年4月＞ 教育学士
		地域社会と学校※ 国語(書写含む) 国語科教育法 子ども文化論 教育実習指導(幼稚園・小学校) 教育実習(幼稚園・小学校) スタートアップセミナー 保育・教職実践演習(幼稚園・小学校) ※ 専門演習 卒業研究演習 卒業研究
専	教授	稲實 順 66(高) ＜令和2年4月＞ 教育学士
		学級経営論※ 現代社会と教育※ 図画工作 造形表現法 保育内容(表現)※ 図画工作科教育法 保育内容の指導法(表現)※ 専門演習 卒業研究演習 卒業研究 スタートアップセミナー※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	庄井 良信 (59) ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教師・保育者論※ 教育方法論 保幼小連携特論 保育内容(人間関係)※ 子どもの遊びと学び <b>生徒指導・進路指導</b> 専門演習 卒業研究演習 卒業研究 子ども学 <b>女性とキャリアI※</b>
専	教授	駒形 武志 (63) ＜令和2年4月＞ 教育学士
		地域社会と学校※ 国語(書写含む) 国語科教育法 子ども文化論 教育実習指導(幼稚園・小学校) 教育実習(幼稚園・小学校) スタートアップセミナー 保育・教職実践演習(幼稚園・小学校) ※ 専門演習 卒業研究演習 卒業研究 <b>女性とキャリアI※</b>
専	教授	稲實 順 66(高) ＜令和2年4月＞ 教育学士
		学級経営論※ 現代社会と教育※ 図画工作 造形表現法 保育内容(表現)※ 図画工作科教育法 保育内容の指導法(表現)※ 専門演習 卒業研究演習 卒業研究 スタートアップセミナー※ <b>女性とキャリアI※</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大室 道夫 62(高) <令和2年4月> 教育学士
		教育課程総論(全体的な計画を含む)※ 特別活動・総合的な学習の時間の指導法 地域社会と学校※ 生活 生活科教育法 教育実習指導(幼稚園・小学校) 教育実習(幼稚園・小学校) スタートアップセミナー 専門演習 卒業研究演習 卒業研究
専	教授	松村 聡 (61) <令和2年4月> 教育学士
		学級経営論※ 教師・保育者論※ 現代社会と教育※ 算数 算数科教育法 スタートアップセミナー 保育・教職実践演習(幼稚園・小学校) ※ 専門演習 卒業研究演習 卒業研究 女性とキャリアI
専	准教授	青木 直子 (41) <令和2年4月> 博士(心理学)
		教育心理学 学校教育心理学 発達心理学 児童期以降の発達と心理 保育内容(言葉)※ 保育内容の指導法(言葉)※ 子ども家庭支援の心理学※ 研究調査法 専門演習 卒業研究演習 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大室 道夫 62(高) <令和2年4月> 教育学士
		教育課程総論(全体的な計画を含む)※ 特別活動・総合的な学習の時間の指導法 地域社会と学校※ 生活 生活科教育法 教育実習指導(幼稚園・小学校) 教育実習(幼稚園・小学校) スタートアップセミナー 専門演習 卒業研究演習 卒業研究 女性とキャリアI※
専	教授	松村 聡 (61) <令和2年4月> 教育学士
		学級経営論※ 教師・保育者論※ 現代社会と教育※ 算数 算数科教育法 スタートアップセミナー 保育・教職実践演習(幼稚園・小学校) ※ 専門演習 卒業研究演習 卒業研究 女性とキャリアI※
専	准教授	青木 直子 (41) <令和2年4月> 博士(心理学)
		教育心理学 学校教育心理学 発達心理学 児童期以降の発達と心理 保育内容(言葉)※ 保育内容の指導法(言葉)※ 子ども家庭支援の心理学※ 研究調査法 専門演習 卒業研究演習 卒業研究 女性とキャリアI※



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	新海 節 (42) ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		音楽 音楽表現法 音楽表現演習 保育内容(表現)※ 保育内容の指導法(表現)※ 専門演習 卒業研究演習 卒業研究 スタートアップセミナー
専	准教授	今野 邦彦 (60) ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		特別支援教育総論 特別支援教育実践論※ 肢体不自由児教育 肢体不自由児教育総論 重複・発達障害児教育総論 教育実習指導(特別支援) 教育実習(特別支援) スタートアップセミナー 専門演習 卒業研究演習 卒業研究
専	准教授	木本 理可 (38) ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		初等体育 スポーツ実技A(水泳) スポーツ実技B(スキー) 保育内容(健康) 体育科教育法 保育内容の指導法(健康) 専門演習 卒業研究演習 卒業研究 運動の科学 運動の実践A 運動の実践B
兼任	教授	工藤 雅之 (52) ＜令和3年4月＞ 博士(教育学)
		英語 英語科教育法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	新海 節 (42) ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		音楽 音楽表現法 音楽表現演習 保育内容(表現)※ 保育内容の指導法(表現)※ 専門演習 卒業研究演習 卒業研究 スタートアップセミナー <b>女性とキャリアI※</b>
専	准教授	今野 邦彦 (60) ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		特別支援教育総論 特別支援教育実践論※ 肢体不自由児教育 肢体不自由児教育総論 重複・発達障害児教育総論 教育実習指導(特別支援) 教育実習(特別支援) スタートアップセミナー 専門演習 卒業研究演習 卒業研究 <b>女性とキャリアI※</b>
専	准教授	木本 理可 (39) ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		初等体育 スポーツ実技A(水泳) スポーツ実技B(スキー) 保育内容(健康) 体育科教育法 保育内容の指導法(健康) 専門演習 卒業研究演習 卒業研究 運動の科学 運動の実践A 運動の実践B <b>女性とキャリアI※</b>
兼任	教授	工藤 雅之 (52) <b>＜令和4年4月＞</b> 博士(教育学)
		<b>英語</b> 英語科教育法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	木村 晶子 (63) ＜令和2年4月＞ Master of Arts(米国)
		キリスト教と藤女子大学※ キリスト教人間学A キリスト教人間学B
兼任	教授	阿部 包 (69) ＜令和2年4月＞ ※文学修士
		キリスト教概論 キリスト教と藤女子大学※  聖書概論A 聖書概論B
兼任	教授	阿部 包 (70) ＜令和3年4月＞ ※文学修士
		キリスト教概論 キリスト教と藤女子大学※ 聖書概論A 聖書概論B
兼任	教授	木脇 奈智子 (57) ＜令和2年4月＞ 博士(比較文化)
		ジェンダー論
兼任	教授	真鶴 俊喜 (57) ＜令和2年4月＞ ※法学修士
		日本国憲法
兼任	教授	漆崎 正人 (66) ＜令和2年4月＞ ※文学修士
		キリスト教と藤女子大学※
兼任	教授	渡邊 浩 (60) ＜令和2年4月＞ ※文学修士
		キリスト教と藤女子大学※ 西洋史

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	木村 晶子 (63) ＜令和2年4月＞ Master of Arts(米国)
		キリスト教と藤女子大学※ キリスト教人間学A <b>キリスト教人間学B</b>
兼任	教授	阿部 包 (69) ＜令和2年4月＞ ※文学修士
		キリスト教概論 キリスト教と藤女子大学※ <b>キリスト教人間学A</b> 聖書概論A 聖書概論B
兼任	教授	阿部 包 (70) ＜令和3年4月＞ ※文学修士
		キリスト教概論 キリスト教と藤女子大学※ 聖書概論A 聖書概論B
兼任	教授	木脇 奈智子 (57) ＜令和2年4月＞ 博士(比較文化)
		ジェンダー論
兼任	教授	真鶴 俊喜 (57) ＜令和2年4月＞ ※法学修士
		日本国憲法
兼任	教授	漆崎 正人 (66) ＜令和2年4月＞ ※文学修士
		キリスト教と藤女子大学※
兼任	教授	渡邊 浩 (60) ＜令和2年4月＞ ※文学修士
		キリスト教と藤女子大学※ 西洋史

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	池田 隆幸 (63) ＜令和2年4月＞ 博士(農学)
		ライフステージ栄養学※
兼担	教授	菊地 和美 (54) ＜令和2年4月＞ 博士(農学)
		ライフステージ栄養学※
兼担	教授	藤井 義博 (69) ＜令和2年4月＞ 医学博士
		健康の科学
兼任	教授	藤井 義博 (70) ＜令和3年4月＞ 医学博士
		健康の科学
兼担	教授	三田村 理恵子 (51) ＜令和2年4月＞ 博士(農学)
		ライフステージ栄養学※
兼担	教授	村田 まり子 (63) ＜令和2年4月＞ 博士(農学)
		ライフステージ栄養学※
兼担	教授	高橋 博 (51) ＜令和2年4月＞ Master of Arts(Applied Linguistics)(米国)
		Academic Communication I Academic Communication II Skills for the TOEFL I Skills for the TOEFL II English for Global Communication CLIL English

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	池田 隆幸 (63) ＜令和2年4月＞ 博士(農学)
		ライフステージ栄養学※
兼担	教授	菊地 和美 (54) ＜令和2年4月＞ 博士(農学)
		ライフステージ栄養学※
兼担	教授	藤井 義博 (69) ＜令和2年4月＞ 医学博士
		健康の科学
兼任	教授	藤井 義博 (69) ＜令和3年4月＞ 医学博士
		健康の科学
兼担	教授	三田村 理恵子 (51) ＜令和2年4月＞ 博士(農学)
		ライフステージ栄養学※
兼担	教授	村田 まり子 (63) ＜令和2年4月＞ 博士(農学)
		ライフステージ栄養学※
兼担	教授	高橋 博 (51) ＜令和2年4月＞ Master of Arts(Applied Linguistics)(米国)
		Academic Communication I Academic Communication II Skills for the TOEFL I Skills for the TOEFL II <del>English for Global Communication</del> <del>CLIL English</del>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	関谷 博 (61) ＜令和2年4月＞ 文学修士
		日本語文学 アジア圏文学
兼任	教授	種田 和加子 (67) ＜令和2年4月＞ 博士 (文学)
		日本語文学
兼任	教授	山本 綾子(すい子) (50) ＜令和2年4月＞ 博士 (文学)
		アジア圏文学
兼任	准教授	英 美由紀 (57) ＜令和2年4月＞ 博士(人文科学)
		英語圏文学
兼任	准教授	對馬 康博 (40) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		言語学
兼任	准教授	隈元 晴子 (47) ＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		子どもの食と栄養※ ライフステージ栄養学※
兼任	准教授	松本 あづさ (39) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		キリスト教と藤女子大学※ 日本史B
兼任	准教授	下田 尊久 (69) ＜令和2年4月＞ Master of Philosophy(英国)
		キリスト教と藤女子大学※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	関谷 博 (61) ＜令和2年4月＞ 文学修士
		日本語文学 アジア圏文学
兼任	教授	種田 和加子 (67) ＜令和2年4月＞ 博士 (文学)
		日本語文学
兼任	教授	山本 綾子(すい子) (50) ＜令和2年4月＞ 博士 (文学)
		アジア圏文学
兼任	准教授	英 美由紀 (57) ＜令和2年4月＞ 博士(人文科学)
		英語圏文学
兼任	准教授	對馬 康博 (40) ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		言語学
兼任	准教授	隈元 晴子 (48) ＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		子どもの食と栄養※ ライフステージ栄養学※
兼任	准教授	松本 あづさ (39) ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		キリスト教と藤女子大学※ 日本史B
兼任	准教授	下田 尊久 (69) ＜令和2年4月＞ Master of Philosophy(英国)
		キリスト教と藤女子大学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	下田 尊久 (71) ＜令和4年4月＞ Master of Philosophy(英国)
		キリスト教と藤女子大学※
兼任	准教授	平井 上総 (39) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		日本史A
兼任	准教授	平井(中村) 孝典 (49) ＜令和2年4月＞ 修士(社会学)
		情報リテラシーA 情報リテラシーB
兼任	講師	上原 賢司 (39) ＜令和2年4月＞ 博士(政治学)
		国際関係論
兼任	教授	佐々木 貴子 (65) ＜令和3年4月＞ 修士(教育学)
		家庭 家庭科教育法
兼任	教授	鈴木 幸雄 (66) ＜令和2年4月＞ 社会学修士
		社会福祉論
兼任	教授	佐藤 洋子 (65) ＜令和4年4月＞ 修士(法学)
		子どもの健康と安全
兼任	教授	品川 ひろみ (63) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		子育て支援(講義)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	下田 尊久 (69) ＜令和4年4月＞ Master of Philosophy(英国)
		キリスト教と藤女子大学※
兼任	准教授	平井 上総 (39) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		日本史A
兼任	准教授	平井(中村) 孝典 (49) ＜令和2年4月＞ 修士(社会学)
		情報リテラシーA 情報リテラシーB
兼任	講師	上原 賢司 (39) ＜令和2年4月＞ 博士(政治学)
		国際関係論
兼任	教授	佐々木 貴子 (64) ＜令和3年4月＞ 修士(教育学)
		家庭 家庭科教育法
兼任	教授	鈴木 幸雄 (66) ＜令和2年4月＞ 社会学修士
		社会福祉論
兼任	教授	佐藤 洋子 (63) ＜令和4年4月＞ 修士(法学)
		子どもの健康と安全
兼任	教授	品川 ひろみ (60) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		子育て支援(講義)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	太田 俊一 (67) ＜令和4年4月＞ 教育学士
		理科 理科教育法
兼任	教授	川村 信三 (61) ＜令和2年4月＞ Ph. D. (歴史学) (米国)
		キリスト教と藤女子大学※
兼任	教授	岡庭 義行 (52) ＜令和2年4月＞ 修士※(政治学)
		文化人類学
兼任	教授	神山 義治 (58) ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)
		経済学
兼任	教授	菅原 寧格 (46) ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		日本国憲法
兼任	教授	江口 久登 (64) ＜令和2年4月＞ 衛生工学修士
		環境科学 自然と化学
兼任	教授	増田 隆一 (59) ＜令和2年4月＞ 理学博士
		生命科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	太田 俊一 (65) ＜令和4年4月＞ 教育学士
		理科 理科教育法
兼任	教授	川村 信三 (61) ＜令和2年4月＞ Ph. D. (歴史学) (米国)
		キリスト教と藤女子大学※
兼任	教授	岡庭 義行 (52) ＜令和2年4月＞ 修士※(政治学)
		文化人類学
兼任	教授	神山 義治 (59) ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)
		経済学
兼任	教授	菅原 寧格 (46) ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		日本国憲法
兼任	教授	新井 良夫 (72) ＜令和2年4月＞ Postgraduate Diploma in Phonetics
		言語学
兼任	教授	江口 久登 (64) ＜令和2年4月＞ 衛生工学修士
		環境科学 自然と化学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	木村 信行 (68) ＜令和2年4月＞ 理学博士
		数学 物理学
兼任	教授	神林 勲 (56) ＜令和2年4月＞ 博士(理学療法学)
		運動の実践A 運動の実践B
兼任	教授	田中 昭憲 (54) ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		運動の実践A 運動の実践B
兼任	教授	田中 一徳 (49) ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		運動の実践A
兼任	教授	清水 誠 (63) ＜令和4年4月＞ 文学修士
		上級ドイツ語I 上級ドイツ語II
兼任	教授	浅見 吏郎 (52) ＜令和2年4月＞ 修士(英語学)
		異文化コミュニケーション
兼任	教授	鈴木 眞知子 (71) ＜令和3年4月＞ 修士(教育学)
		肢体不自由児の心理・生理・病理 重複・発達障害児の心理・生理・病理
兼任	准教授	白水 浩信 (50) ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教育原理

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	木村 信行 (68) ＜令和2年4月＞ 理学博士
		数学 物理学
兼任	教授	神林 勲 (56) ＜令和2年4月＞ 博士(理学療法学)
		運動の実践A 運動の実践B
兼任	教授	田中 昭憲 (54) ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		運動の実践A 運動の実践B
兼任	教授	田中 一徳 (49) ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		運動の実践A
兼任	教授	清水 誠 (61) ＜令和4年4月＞ 文学修士
		上級ドイツ語I 上級ドイツ語II
兼任	教授	浅見 吏郎 (52) ＜令和2年4月＞ 修士(英語学)
		異文化コミュニケーション
兼任	教授	鈴木 眞知子 (70) ＜令和3年4月＞ 修士(教育学)
		肢体不自由児の心理・生理・病理 重複・発達障害児の心理・生理・病理
兼任	准教授	白水 浩信 (51) ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教育原理

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	岡部 敦 (55) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)
		教育制度論
兼任	准教授	石出 和也 (42) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		音楽科教育法
兼任	准教授	川端 美穂 (54) ＜令和3年4月＞ 修士(文学)
		保育内容の指導法(人間関係)
兼任	准教授	市川 正人 (42) ＜令和3年4月＞ 修士(看護学)
		子どもの保健
兼任	准教授	李 炯直 (45) ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)
		国際理解教育
兼任	准教授	岡本 亮輔 (40) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		宗教と文化

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	岡部 敦 (53) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)
		教育制度論
兼任	准教授	高橋 さおり (38) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		教育課程総論(全体的な計画を含む) ※
兼任	准教授	志村 昭暢 (45) ＜令和3年4月＞ 修士(教育学)
		英語
兼任	准教授	石出 和也 (40) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		音楽科教育法
兼任	准教授	川端 美穂 (53) ＜令和3年4月＞ 修士(文学)
		幼児理解と援助※ 保育内容の指導法(人間関係)
兼任	准教授	市川 正人 (41) ＜令和3年4月＞ 修士(看護学)
		子どもの保健
兼任	准教授	李 炯直 (46) ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)
		国際理解教育



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	湯浅 恭子 (65) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		Academic Communication I Academic Communication II
兼任	准教授	増山 由香里 (48) ＜令和3年4月＞ 修士(教育学)
		保育内容(人間関係)※
兼任	講師	長瀬 英生 (63) ＜令和3年4月＞ 教育学士
		道德教育の理論と実践
兼任	講師	三野 絵美 (51) ＜令和4年4月＞ 学士(医学)
		病弱児の心理・生理・病理
兼任	講師	本間 尚史 (47) ＜令和3年4月＞ 修士(教育学)
		知的障害児教育
兼任	講師	永根 道史 (68) ＜令和4年4月＞ 法学士
		病弱児教育
兼任	講師	渡辺 隼人 (35) ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		知的障害児教育総論
兼任	講師	金田一 仁志 (61) ＜令和3年4月＞ 高等学校卒
		総合表現

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	湯浅 恭子 (65) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		Academic Communication I Academic Communication II
兼任	准教授	増山 由香里 (47) ＜令和3年4月＞ 修士(教育学)
		保育内容(人間関係)※
兼任	講師	長瀬 英生 (62) ＜令和3年4月＞ 教育学士
		道德教育の理論と実践
兼任	講師	三野 絵美 (49) ＜令和4年4月＞ 学士(医学)
		病弱児の心理・生理・病理
兼任	講師	本間 尚史 (46) ＜令和3年4月＞ 修士(教育学)
		知的障害児教育
兼任	講師	永根 道史 (66) ＜令和4年4月＞ 法学士
		病弱児教育
兼任	講師	渡辺 隼人 (35) ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		知的障害児教育総論
兼任	講師	金田一 仁志 (60) ＜令和3年4月＞ 高等学校卒
		総合表現

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	新保 元康(哲夫) (63) ＜令和4年4月＞ 教育学士
		社会 社会科教育法
兼任	講師	相原 啓寿 (54) ＜令和2年4月＞ 学士(音楽)
		音楽 音楽表現法 音楽
兼任	講師	相原 真美 (55) ＜令和3年4月＞ 学士(音楽)
		音楽 音楽表現法
兼任	講師	石橋 克史 (54) ＜令和3年4月＞ 学士(音楽)
		音楽 音楽表現法 音楽表現演習
兼任	講師	大高 紫乃 (55) ＜令和3年4月＞ Künstlerische Ausbildung(芸術 修士)(ドイツ)
		音楽 音楽表現法 音楽表現演習
兼任	講師	小杉 恵 (47) ＜令和3年4月＞ 学士(音楽)
		音楽
兼任	講師	佐藤(河邊) 奈都美 (45) ＜令和3年4月＞ 学士(音楽)
		音楽 音楽表現法 音楽表現演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	新保 元康(哲夫) (61) ＜令和4年4月＞ 教育学士
		社会 社会科教育法
兼任	講師	相原 啓寿 (53) ＜令和2年4月＞ 学士(音楽)
		音楽 音楽表現法 音楽
兼任	講師	相原 真美 (54) ＜令和3年4月＞ 学士(音楽)
		音楽 音楽表現法
兼任	講師	石橋 克史 (53) ＜令和3年4月＞ 学士(音楽)
		音楽 音楽表現法 音楽表現演習
兼任	講師	大高 紫乃 (54) ＜令和3年4月＞ Künstlerische Ausbildung(芸術 修士)(ドイツ)
		音楽 音楽表現法 音楽表現演習
兼任	講師	小杉 恵 (46) ＜令和3年4月＞ 学士(音楽)
		音楽
兼任	講師	佐藤(河邊) 奈都美 (44) ＜令和3年4月＞ 学士(音楽)
		音楽 音楽表現法 音楽表現演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	須藤 尚美 (58) ＜令和3年4月＞ 教育学修士(音楽教育)
		音楽 音楽表現法 音楽表現演習
兼任	講師	鷹木 真理子 (64) ＜令和3年4月＞ 芸術学士(音楽)
		音楽 音楽表現法
兼任	講師	辻(大前) 千絵 (51) ＜令和3年4月＞ 学士(教育学)
		音楽 音楽表現法 音楽表現演習
兼任	講師	若狭(青野) 玲衣 (44) ＜令和3年4月＞ 修士(音楽)
		音楽 音楽表現法 音楽表現演習
兼任	講師	道下 暁 (46) ＜令和4年4月＞ 修士(音楽)
		音楽表現法
兼任	講師	清水 貴子 (49) ＜令和3年4月＞ 修士(教育学)
		保育内容(言葉)※ 保育内容の指導法(言葉)※
兼任	講師	吉田 孝子 (67) ＜令和4年4月＞ 教育学士
		特別支援教育と福祉
兼任	講師	石田 しづえ (55) ＜令和4年4月＞ 修士(栄養学)
		子どもの食と栄養※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	須藤 尚美 (58) ＜令和3年4月＞ 教育学修士(音楽教育)
		音楽 音楽表現法 音楽表現演習
兼任	講師	鷹木 真理子 (63) ＜令和3年4月＞ 芸術学士(音楽)
		音楽 音楽表現法
兼任	講師	辻(大前) 千絵 (50) ＜令和3年4月＞ 学士(教育学)
		音楽 音楽表現法 音楽表現演習
兼任	講師	若狭(青野) 玲衣 (43) ＜令和3年4月＞ 修士(音楽)
		音楽 音楽表現法 音楽表現演習
兼任	講師	道下 暁 (44) ＜令和4年4月＞ 修士(音楽)
		音楽表現法
兼任	講師	清水 貴子 (49) ＜令和3年4月＞ 修士(教育学)
		保育内容(言葉)※ 保育内容の指導法(言葉)※
兼任	講師	吉田 孝子 (65) ＜令和4年4月＞ 教育学士
		特別支援教育と福祉
兼任	講師	石田 しづえ (53) ＜令和4年4月＞ 修士(栄養学)
		子どもの食と栄養※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小林 美花 (46) ＜令和3年4月＞ 準学士
		乳児保育I 乳児保育II
兼任	講師	小野 実佐 (46) ＜令和4年4月＞ 修士(臨床心理学)
		子育て支援(演習)
兼任	講師	矢野 潤 (68) ＜令和5年4月＞ 理学士
		教育実習指導(特別支援) 教育実習(特別支援)
兼任	講師	金 仁子 (46) ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)
		女性と労働
兼任	講師	李 妍淑 (45) ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		女性と法律
兼任	講師	清水 香基 (30) ＜令和2年4月＞ 修士(総合文化政策学)
		社会学
兼任	講師	今泉 明子 (44) ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小林 美花 (45) ＜令和3年4月＞ 準学士
		乳児保育I 乳児保育II
兼任	講師	小野 実佐 (44) ＜令和4年4月＞ 修士(臨床心理学)
		子育て支援(演習)
兼任	講師	矢野 潤 (65) ＜令和5年4月＞ 理学士
		教育実習指導(特別支援) 教育実習(特別支援)
兼任	講師	堀 雅彦 (52) ＜令和2年4月＞ 文学修士(宗教学)
		キリスト教人間学B 宗教と文化
兼任	講師	金 仁子 (46) ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)
		女性と労働
兼任	講師	李 妍淑 (45) ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		女性と法律
兼任	講師	清水 香基 (30) ＜令和2年4月＞ 修士(総合文化政策学)
		社会学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	川口 琢司 (61) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		東洋史
兼任	講師	多田 圭介 (44) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		哲学
兼任	講師	宮野 晃一郎 (45) ＜令和2年4月＞ 修士(文学)
		倫理学
兼任	講師	田代 早矢人 (51) ＜令和2年4月＞ 修士(文学)
		文章表現
兼任	講師	中井 明美 (64) ＜令和2年4月＞ 教育学士(教育学)
		運動の実践B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	濤岡 優 (27) ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		心理学
兼任	講師	坪田 芳典 (39) ＜令和2年4月＞ 政治学修士
		日本史B
兼任	講師	川口 琢司 (61) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		東洋史
兼任	講師	多田 圭介 (44) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		哲学
兼任	講師	宮野 晃一郎 (45) ＜令和2年4月＞ 修士(文学)
		倫理学
兼任	教授	西田 義憲 (50) ＜令和2年4月＞ 博士(農学)
		生命科学
兼任	講師	田代 早矢人 (51) ＜令和2年4月＞ 修士(文学)
		文章表現
兼任	講師	中井 明美 (64) ＜令和2年4月＞ 教育学士(教育学)
		運動の実践B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	高木 維 (39) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		文章表現
兼任	講師	山本 貴昭 (44) ＜令和2年4月＞ 修士(文学)
		文章表現
兼任	講師	原林 滋子 (57) ＜令和2年4月＞ 理学士
		統計学
兼任	講師	中山 理智恵 (60) ＜令和2年4月＞ 高等学校卒
		情報処理の基礎 情報リテラシーA
兼任	講師	谷川 靖郎 (45) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		情報リテラシーB
兼任	講師	Kevin Litton (57) ＜令和2年4月＞ Bachelor of Arts (in English) (米国)
		Academic Communication I Academic Communication II Interactive English A Interactive English B
兼任	講師	Christopher William Cartney (50) ＜令和2年4月＞ BSc (Hons) Physical Geography (英国)
		Academic Communication I Academic Communication II Interactive English A Interactive English B Academic Listening & Note-taking Academic Speaking & Discussion Academic Reading I Academic Reading II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	高木 維 (39) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		文章表現
兼任	講師	山本 貴昭 (44) ＜令和2年4月＞ 修士(文学)
		文章表現
兼任	講師	原林 滋子 (57) ＜令和2年4月＞ 理学士
		統計学
兼任	講師	中山 理智恵 (60) ＜令和2年4月＞ 高等学校卒
		情報処理の基礎 情報リテラシーA
兼任	講師	谷川 靖郎 (45) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		情報リテラシーB
兼任	講師	Kevin Litton (57) ＜令和2年4月＞ Bachelor of Arts (in English) (米国)
		Academic Communication I Academic Communication II Interactive English A Interactive English B
兼任	講師	Christopher William Cartney (50) ＜令和2年4月＞ BSc (Hons) Physical Geography (英国)
		Academic Communication I Academic Communication II Interactive English A Interactive English B Academic Listening & Note-taking Academic Speaking & Discussion Academic Reading I Academic Reading II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Robert Atkins (43) ＜令和2年4月＞ Bachelor of Science (Psychology) (ニュージーランド)
		Academic Communication I Academic Communication II Interactive English A Interactive English B
兼任	講師	Christopher Blaine Simons (58) ＜令和2年4月＞ B. S. Corporate Communications (米国)
		Academic Communication I Academic Communication II Interactive English A Interactive English B
兼任	講師	Denis William Quinn (53) ＜令和2年4月＞ Bachelor of Arts (HONORS IIA) (オーストラリア)
		Academic Communication I Academic Communication II Practical English A Practical English B Academic Reading I Academic Reading II
兼任	講師	北間 砂織 (54) ＜令和2年4月＞ M. A. in English Language and Linguistics (英国)
		Academic Communication I Academic Communication II
兼任	講師	山田 晃子 (62) ＜令和2年4月＞ 修士(言語文化コミュニケーション学)
		Academic Communication I Academic Communication II Essential Vocabulary & Grammar

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Robert Atkins (43) ＜令和2年4月＞ Bachelor of Science (Psychology) (ニュージーランド)
		Academic Communication I Academic Communication II Interactive English A Interactive English B
兼任	講師	Christopher Blaine Simons (58) ＜令和2年4月＞ B. S. Corporate Communications (米国)
		Academic Communication I Academic Communication II Interactive English A Interactive English B
兼任	講師	Denis William Quinn (54) ＜令和2年4月＞ Bachelor of Arts (HONORS IIA) (オーストラリア)
		Academic Communication I Academic Communication II Practical English A Practical English B Academic Reading I Academic Reading II <b>English for Global Communication</b> <b>CLIL English</b>
兼任	講師	北間 砂織 (54) ＜令和2年4月＞ M. A. in English Language and Linguistics (英国)
		Academic Communication I Academic Communication II
兼任	講師	山田 晃子 (62) ＜令和2年4月＞ 修士(言語文化コミュニケーション学)
		Academic Communication I Academic Communication II Essential Vocabulary & Grammar

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	杉浦 康則 (42) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		初級ドイツ語I 初級ドイツ語II 中級ドイツ語I 中級ドイツ語II
兼任	講師	阿部 和夫 (53) ＜令和3年4月＞ 修士(ドイツ文学)
		ドイツ語演習I
兼任	講師	山藤 顕 (34) ＜令和3年4月＞ 修士(文学)
		ドイツ語演習II
兼任	講師	三浦 なつみ (43) ＜令和2年4月＞ 文学修士
		初級フランス語I 初級フランス語II 中級フランス語I 中級フランス語II
兼任	講師	櫻井 典夫 (43) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		初級フランス語I 初級フランス語II フランス語演習I フランス語演習II
兼任	講師	小澤 卓哉 (42) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		上級フランス語I 上級フランス語II
兼任	講師	楊 志剛 (62) ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		初級中国語I 初級中国語II 中級中国語I 中級中国語II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	杉浦 康則 (42) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		初級ドイツ語I 初級ドイツ語II 中級ドイツ語I 中級ドイツ語II
兼任	講師	阿部 和夫 (52) ＜令和3年4月＞ 修士(ドイツ文学)
		ドイツ語演習I
兼任	講師	山藤 顕 (33) ＜令和3年4月＞ 修士(文学)
		ドイツ語演習II
兼任	講師	三浦 なつみ (43) ＜令和2年4月＞ 文学修士
		初級フランス語I 初級フランス語II 中級フランス語I 中級フランス語II
兼任	講師	櫻井 典夫 (43) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		初級フランス語I 初級フランス語II フランス語演習I フランス語演習II
兼任	講師	小澤 卓哉 (40) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		上級フランス語I 上級フランス語II
兼任	講師	楊 志剛 (62) ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		初級中国語I 初級中国語II 中級中国語I 中級中国語II



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	張 阿金 (46) <令和2年4月> 博士(文学)
		初級中国語I 初級中国語II
兼任	講師	日野杉 匡大 (43) <令和2年4月> 修士(文学)
		初級中国語I 初級中国語II 中国語演習I 中国語演習II
兼任	講師	胡(猪野) 慧君 (48) <令和4年4月> 博士(文学)
		上級中国語I 上級中国語II
兼任	講師	森若 裕子 (54) <令和3年4月> 修士(人類学)
		中国語実践演習A 中国語実践演習B
兼任	講師	松田 由紀 (50) <令和2年4月> 修士(政治学)
		初級韓国語I 初級韓国語II 韓国語演習I 韓国語演習II
兼任	講師	金 昌九 (47) <令和2年4月> 博士(文学)
		初級韓国語I 初級韓国語II 中級韓国語I 中級韓国語II 上級韓国語I 上級韓国語II
兼任	講師	金 京愛 (46) <令和2年4月> 博士(文学)
		初級韓国語I 初級韓国語II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	張 阿金 (46) <令和2年4月> 博士(文学)
		初級中国語I 初級中国語II
兼任	講師	日野杉 匡大 (43) <令和2年4月> 修士(文学)
		初級中国語I 初級中国語II 中国語演習I 中国語演習II
兼任	講師	胡(猪野) 慧君 (48) <令和4年4月> 博士(文学)
		上級中国語I 上級中国語II
兼任	講師	森若 裕子 (54) <令和3年4月> 修士(人類学)
		中国語実践演習A 中国語実践演習B
兼任	講師	松田 由紀 (50) <令和2年4月> 修士(政治学)
		初級韓国語I 初級韓国語II 韓国語演習I 韓国語演習II
兼任	講師	金 昌九 (47) <令和2年4月> 博士(文学)
		初級韓国語I 初級韓国語II 中級韓国語I 中級韓国語II 上級韓国語I 上級韓国語II
兼任	講師	金 京愛 (46) <令和2年4月> 博士(文学)
		初級韓国語I 初級韓国語II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宋 美蘭 (49) <令和3年4月> 博士(教育学)
		韓国語実践演習A 韓国語実践演習B
兼任	講師	柴田 恵里子 (56) <令和3年4月> 準学士
		児童館・放課後児童クラブの機能と運営
兼任	講師	森岡 裕美子 (51) <令和3年4月> 準学士
		児童館・放課後児童クラブの機能と運営
兼任	講師	山田 美奈 (51) <令和3年4月> 高等学校卒
		児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法I
兼任	講師	工藤 明美 (55) <令和5年4月> 準学士
		児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法II
兼任	講師	吉原 朝子 (52) <令和3年4月> 準学士
		児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法I 児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法II
兼任	講師	仲嶋 貴将 (50) <令和2年4月> 修士(芸術学)
		美術論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宋 美蘭 (48) <令和3年4月> 博士(教育学)
		韓国語実践演習A 韓国語実践演習B
兼任	講師	柴田 恵里子 (55) <令和3年4月> 準学士
		児童館・放課後児童クラブの機能と運営
兼任	講師	森岡 裕美子 (50) <令和3年4月> 準学士
		児童館・放課後児童クラブの機能と運営
兼任	講師	山田 美奈 (50) <令和3年4月> 高等学校卒
		児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法I
兼任	講師	工藤 明美 (52) <令和5年4月> 準学士
		児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法II
兼任	講師	仲嶋 貴将 (51) <令和2年4月> 修士(芸術学)
		美術論

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- ・ その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

・高橋真由美教授の学科主任の任期が終了したため、吾田富士子教授が新たに学科主任となりました。  
・小学校及び幼稚園教諭一種免許課程認定申請の審査指摘（9月）において、「幼児理解と援助」の高橋真由美教授の業績不足が指摘されたため、川端美穂先生を担当者として追加しました。  
・専任教員が各1回授業を担当し、幅広い視点で女性のキャリアを考える機会を与えるため、「女性とキャリア」の担当者が学科専任教員全員（教授10名、准教授4名）に変更になりました。  
・小学校及び幼稚園教諭一種免許課程認定申請の審査指摘（9月）において、「教育課程総論（全体的な計画を含む）」の吾田富士子教授1名の業績不足が指摘されたため担当から外し、新たに高橋さおり先生を担当者として追加しました。  
・小学校及び幼稚園教諭一種免許課程認定申請の審査指摘（9月）において、科目名に関する指摘が入ったため、「児童生徒指導・進路指導」を「生徒指導・進路指導」に名称変更いたしました。  
・小学校及び幼稚園教諭一種免許課程認定申請の審査指摘（9月）において、「英語」の工藤雅之先生の業績不足が指摘されたため担当から外し、志村昭暢先生を担当者となりました。この変更により工藤先生の就任時期が変更となりました。  
・担当者の授業負担調整のため、「キリスト教人間学B」の担当から木村晶子先生を外し、科目内容の業績が豊富な堀雅彦先生が担当となりました。  
・聖書をもとにした人間学へのアプローチに関する内容の充実を図るため、「キリスト教人間学A」に新たに阿部包先生を追加しました。  
・担当者の授業負担調整のため、「English for Global Communication」及び「CLIL English」の担当から高橋博先生を外し、科目内容の業績が豊富なDenis William Quinn先生が担当となりました。  
・松本あづさ先生がサバティカルにより令和2年度の「日本史B」の担当が不可能となったため、坪田芳典先生が令和2年度のみ担当することになりました。  
・「言語学」を担当している對馬康博先生の令和2年度の授業負担が大きいため、前年度担当の新井良夫先生に令和2年度の担当を引き続きお願いし、對島先生は令和3年度より担当することになりました。  
・岡本亮輔先生の辞退により、「宗教と文化」の担当が堀雅彦先生に変更となりました。  
・今泉明子先生の辞退により、「心理学」の担当が瀧岡優先生に変更となりました。  
・増田隆一先生の辞退により、「生命科学」の担当が西田義憲先生に変更となりました。  
・担当予定の吉原朝子先生が本務先を退職し、同時に本学科目の担当も辞退したため、「児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法Ⅰ」及び「児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法Ⅱ」の担当者が変更となりました。なお、令和3年度に新たな兼任教員を追加する予定です。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。  
・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。  
・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
10	5
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
10	4	0	0	14	0	10	4	0	0	14	0
(10)	(4)	(0)	(0)	(14)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
10	4	0	0	14	0	10	4	0	0	14	0
[±0]	[±0]	[±0]	[±0]	[±0]	[±0]	[±0]	[±0]	[±0]	[±0]	[±0]	[±0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を要審査済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65（平成11年4月1日以降採用者）	2	3
70（平成11年3月31日以前採用者）		
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{14}{14} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{2}{14} = \boxed{14.28} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時  (令和1年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	遵守事項  完成年度までに、定年または任期満了となる専任教員については、「特別任用教員規程」により、完成年度までの再任用、任期更新について承諾を得ている。	履行中  20歳台から40歳台の若手教員を積極的に採用することにより、順次バランスの取れた年齢構成とし、教育研究水準の維持向上と活性化に取り組む。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<人間生活学部 子ども教育学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

教育の質的向上を図るために組織的に取り組む活動の推進を目的として、ファカルティ・ディベロップメント委員会（以下FD委員会）を置いている。

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

FD委員会は学部長と各学科2名の教員、そして専任職員2名で構成され、必要に応じて委員長が招集することにより開催される。

##### c 委員会の審議事項等

FDの企画、立案、実施に関すること。その他FDの推進に関すること。

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

- ・ 授業方法についての勉強会
- ・ 授業改善のためのアンケート調査の実施
- ・ 教員の授業相互参観
- ・ FD研修会の実施

##### b 実施方法

- ・ 授業方法についての勉強会  
オンライン授業の方法について、LMS等を用いた勉強会を実施
- ・ 授業改善のためのアンケート調査の実施  
授業の7回～9回の間で授業改善のために行う中間調査と最終的な調査を行う期末調査を実施
- ・ 教員の授業相互参観  
授業参観週間を設け、その間の専任教員の授業は基本的にすべて公開とし、都合のあう時間帯の授業を必ず1度は参観する
- ・ FD研修会の実施  
これからの大学教職員に必要とされる知識や技術が修得できるような内容の研修会を教職員対象に実施

##### c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 授業方法についての勉強会  
2020年4月から5月の期間で複数回の勉強会を実施。非常勤講師を含め、200人近くの教員が参加
- ・ 授業改善のためのアンケート調査の実施



- 毎年度、中間調査を7月、期末調査を1月に実施。非常勤講師を含め、ほぼ全教員が参加
  - ・ 教員の授業相互参観
    - 毎年度、11月から12月に実施。専任教員はほぼ全員が参加
  - ・ F D 研修会の実施
    - 毎年度1～2回程度、主に外部から講師を招いて学内で研修会を実施。専任教員はほぼ全員が参加
  - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
    - 授業改善のためのアンケート調査は、F D 委員会で分析、検証後に集計結果を大学ホームページで公表するほか「F D レター」を発行するなどの情報の共有を行い、教育方法の向上、教員資質向上の一助としている
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
    - 毎年度、中間調査を7月、期末調査を1月に実施。
  - b 教員や学生への公開状況、方法等
    - アンケートの集計結果は大学ホームページで教員や学生また社会へ広く公開し、教員には「F D レター」を発行するなど情報共有を行っている

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見  
本学では、学則第1章第2条に「本学は、教育研究水準の向上を図り、その目的及び社会的使命を達成するため、次の活動等を行う」とし同第1号として「教育研究活動等の状況について、自ら点検及び評価を行いその結果を公表する。」と定めている。その学則の下に、教育・研究活動等の点検及び評価を行い、その水準の維持と向上を図ることを目的とし、「藤女子大学自己点検・評価規程」を定め、学長を委員長とする自己点検・評価委員会により毎年、本学の教育研究活動について点検・評価を実施している。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期  
・令和2年4月14日 公表
- b 公表方法  
・大学ホームページ上で公開済
- ③ 認証評価を受ける計画  
・平成28年度に大学基準協会に3度目の認証評価を申請し、「適合」と認定されている。  
認定期間は、平成29年4月から令和6年3月

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書（令和2年度）
- a 公表予定の有無 [ 有 ]
- ≪ aで「有」の場合 ≫
- b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ]
- c 公表方法 [ ウェブサイトへの掲載 ]
- ≪ aで公表「無」の場合 ≫
- d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

## 添付資料

### ○藤女子大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程

学長裁定 2020年 4月 1日

#### (設置)

第1条 藤女子大学にファカルティ・ディベロップメント委員会（以下「委員会」という。）を置く。

#### (目的)

第2条 委員会は、大学におけるファカルティ・ディベロップメント（大学が教育の質的向上を図るために組織的に取り組む活動をいう。以下「FD」という。）を推進することを目的とする。

#### (任務)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる事項を任務とする。

(1) FDの企画、立案、実施に関すること。

(2) その他FDの推進に関すること。

2 委員会は、FDの推進状況について、藤女子大学自己点検・評価委員会に適宜報告するものとする。

#### (構成)

第4条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

(1) 両学部長

(2) 学科から選出された者 各学科2名

(3) 事務局長が指名する専任職員 2名以内

(4) 委員長が必要と認めた場合には、委員以外の教職員の出席を求めることができる。

#### (任期)

第5条 前条第2号及び第3号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

#### (委員長)

第6条 委員会に委員長を置き、第4条第2号の委員の中から選出する。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

#### (副委員長)

第7条 委員会に副委員長を置き、委員長の所属しない学部の学科の委員の中から選出する。

2 副委員長は、委員長の業務を補佐する。

#### (委員会の開催)

第8条 委員会は、必要に応じて委員長が招集する。

2 委員は、委員長に委員会の開催を要求することができる。

#### (補則)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営等に関し必要な事項は、委員会が定める。

#### 附 則

1 この規程は、2020年4月1日から施行する。

2 この規程の施行に伴い、「藤女子大学文学部ファカルティ・ディベロップメント委員会規程」及び「藤女子大学人間生活学部ファカルティ・ディベロップメント委員会規程」を廃止する。